

冬春期開花作型におけるトルコギキョウの大苗定植は在圃期間を短縮する

○ 冬春期開花作型は在圃期間が非常に長い

しかし、播種日を早めて抽苔を開始した大苗（右）を定植することで栽培期間を大幅に短縮できます

10月3日定植

大苗



37日



64日



慣行苗



24日



56日



80日

49日短縮

ここに注意!

- 育苗開始前に吸水種子の湿潤低温処理をおこないます
- 慣行と比較して切り花の形質がわずかに低下しますが、実用上問題ありません
- ‘ボレロホワイト’ を用いた結果であり、他品種の大苗定植による在圃期間短縮効果については、今後明らかにする必要があります